

「第2回 現代人の空気感調査〈日本人の3大無料モノ編〉」結果発表
～ 日本人の無料モノ「水」「安全」との比較で、空気のコスト意識を調査 ～
日本人の無料モノのトップは“空気”。
一方“おいしい空気”には平均2,125円のコスト意識。
《日本人の新3大無料モノは「空気」「水」「太陽エネルギー」。「安全」は4位に》

ダイキン工業株式会社（取締役社長：北井 啓之）では、このほど、全国約7千人を対象に、従来、日本人には無料とされ、あまり意識されてこなかった「水」「安全」「空気」について、現在はどの程度のコスト意識を持ち、日常生活の中でどのように捉えているのかなどを聞く、「第2回 現代人の空気感調査〈日本人の3大無料モノ編〉」を実施しました。

日本において「空気」「水」「安全」は無料と言われ、諸外国に比べ、コストに対する意識はあまり持たれていませんでした。しかしながら近年、花粉症患者の増加や水道水への不安、多発する犯罪などから日本人のこのような意識も変わってきていると思われます。

空調のトップメーカーとして、“空気”にこだわり続けてきた、ダイキンでは1日に約20kgも口にしながら、あまり意識されなかった“空気”について、もっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考えています。そこで今回、“空気”と同様、無料とされてきた「水」「安全」とのコスト意識の比較などを通じて、日常生活において“空気”がどのように意識されているのかを浮き彫りにする調査を実施しました。

《日本人の3大無料モノ編 調査》

- 3大無料モノって本当に無料？ コストに対する意識を聞くと、「空気」については80.5%がコストを意識していない。一方で、「水」(79.4%)、「安全」(66.8%)と水、安全には実際、多くの人がコストを意識している結果に。
- 3大無料モノの値段は？ 「おいしい空気」を得るために出してもよい金額は1カ月2,125円。「おいしい水」は2,525円。「安全」は5,686円。
- 3大無料モノに対する意識は？ 現在、意識が最も低いのは「空気」。将来、最も心配なのは「安全」(43.5%)。
- 新3大無料モノは、「空気」「水」「太陽エネルギー」。 「安全」は4位。60代以上では、やはり今でも「安全」が3位。一方で、10代では「電気」「情報」も、今や無料。
- 「おいしい・快適な空気」でイメージする空気は、「高原や山の空気」(35.2%)が最も多く、次いで「渓谷や滝などの空気」(17.2%)。「排気ガスやダイオキシンなどのない空気」(15.1%)も3位に。

【はじめに】

「現代人の空気感調査」は、51年前に日本で初めてパッケージエアコンを製造して以来、“空気”にこだわり、空調の技術を進化させてきた空調トップメーカーのダイキン工業が、1日に約20kgも口にしながらあまり意識されず、なかなか目に見えなかった“空気”について、より多くの方々に関心をもっていただくことを目的として実施したものです。本年3月に「～見えない空気を見えるものに～」をテーマに、目に見えず、言葉では表現することの難しい空気について、「色、音、味、香り、温・湿度」の五感やイメージなどを調べた「第1回 現代人の空気感調査」に続くシリーズ第2弾です。

今回の〈日本人の三大^{タダ}無料モノ編〉では、従来より、“空気”とともに日本人には^{タダ}無料であるとされてきた「水」「安全」とのコスト意識の比較などを通して、現在の日常生活において空気がどのように意識されているのか、について調査しました。

今回の調査結果では、日本人の中で未だ圧倒的に“空気”が^{タダ}無料モノであることが浮き彫りとなりました。一方で、皆様の中で“おいしい空気”という上質な空気を求めている意識が見えたと言えます。

ダイキンはこれからも末永く“空気”が^{タダ}無料と意識される世の中であり続けるように、そして皆様が望む“おいしい空気”という、より上質な“空気”を追求しつづけていたいと考えています。

【調査人数】

有効票数：7,341 サンプル

※webによる公開調査で実施したため、性別、年代、職業などは限定しておりません。

【調査方法】

web調査(当社ホームページ上にて実施)

【調査内容】

1. 日本人の3大^{タダ}無料モノ「空気・水・安全」のコスト意識。
2. 日本人の3大^{タダ}無料モノ「空気・水・安全」の値段。
3. 日本人の3大^{タダ}無料モノ「空気・水・安全」に対する意識度。
4. 現在の日本人^{タダ}無料モノ。
5. 「おいしい・快適な空気」とはどんな空気か。
6. 「おいしい・快適な空気」を得るための方法。

【調査期間】

平成14年10月12日～11月6日

「第2回 現代人の空気感調査〈日本人の3大無料モノ編〉」概要

1. 日本人の3大無料モノ「空気・水・安全」のコスト意識。

1. 「空気・水・安全」に対して、実際にコストを意識しているか聞いてみると。

- 「空気」に対しては、約8割（80.5%）の人がコストを意識していない。
- 「水」に対しては、約8割（79.5%）の人がコストを意識し、年代が高くなるほどコストを意識する傾向にある。
- 「安全」に対しては、7割近く（66.8%）の人がコストを意識し、女性（65.1%）より男性（68.5%）の方がコストを意識する傾向にある。
- 地域別でみると、空気は「東京」「南関東（東京を除く）」、水は「中国」「九州・沖縄」、安全は「北関東」「北海道」が、他の地域よりコストを意識している結果に。

「空気・水・安全」について、日ごろどの程度コストを意識することがあるかを聞いてみると、まず、「空気」に対するコスト意識は、「全くない」（40.8%）と「あまりない」（39.7%）との回答がそれぞれ約4割と多く、両者を合計すると、8割（80.5%）の人が“ない”と回答しています。一方、「時々ある」（15.1%）と「よくある」（4.3%）の、コスト意識が“ある”（19.4%）と回答した方は、男性（18.9%）より女性（20.1%）の方が多く、特に家族の中に「病気がちの方」（28.1%）がいる場合に回答が多めとなっています。

また、地域別にみると、「東京」（22.1%）と「南関東（東京を除く）」（21.2%）は、空気へのコスト意識が高く、「東海」（16.0%）が最もコスト意識が低い結果となりました。

「水」に対するコスト意識は、「時々ある」（49.0%）と回答した人が最も多く、次いで「よくある」（30.5%）の順となっており、両者を合計すると“ある”人が約8割（79.4%）です。

属性別にみると、男性（76.2%）より女性（82.8%）の方が多く、10・20代（74.5%）、30・40代（81.1%）、50代以上（86.8%）と年代が高いほどコストを意識する傾向にあります。

また、地域別にみると、「中国」（82.3%）、「九州・沖縄」（81.8%）は、水へのコスト意識が高く、「北海道」（75.0%）、「東北」（75.2%）が最もコスト意識の低い結果となりました。

「安全」に対するコスト意識は、「時々ある」（43.4%）と回答した人が最も多く、また「よくある」との回答も23.4%となっており、この両者を合計すると“ある”人が7割近く（66.8%）となっています。性別では、「空気」「水」とは異なり、女性（65.1%）より男性（68.5%）の方がコストを意識する傾向にあります。

また、地域別にみると、「北関東」（69.4%）、「北海道」（69.1%）は、安全へのコスト意識が高く、「甲信越」（61.7%）が最もコスト意識の低い結果となりました。

2. 日本人の3大無料モノ「空気・水・安全」の値段。

2. 「空気・水・安全」に値段をつけると。

- 「おいしい・快適な空気」を得るために出してもよい金額は、1カ月 2,125 円。
地域別にみると「南関東（東京を除く）」（2,511 円）「東京」（2,392 円）は高く、「北陸」（1,563 円）、「北関東」（1,533 円）、「四国」（1,477 円）は低い結果に。
- 「おいしい水」を得るために出してもよい金額は、1カ月 2,525 円。
- 「安全」を得るために出してもよい金額は、1カ月 5,686 円。

「空気・水・安全」に値段をつけるとしたら、いくらぐらいのお金を出してもよいと思うかを聞いてみると、「空気・水・安全」の中で、最も高いお金を出してもよいと思うものは「安全」（平均 5,686 円）という結果となり、「おいしい・快適な空気」（平均 2,125 円）と「おいしい水」（平均 2,525 円）は比較的近い金額となりました。では、それぞれを具体的にしてみると-----。

まず、「おいしい・快適な空気」が1カ月間得られるとしたら、いくらぐらい出してもよいかを聞いたところ、「1～1,000 円未満」（30.2%）と回答した人が最も多く、次いで「1,000～2,000 円未満」（29.1%）の順となっています。以下、「特にお金を出す必要ない（0 円）」（11.0%）が続きます。平均は 2,125 円でした。

性別にみると、女性（平均 2,086 円）に比べて男性（平均 2,164 円）の方が若干高めとなっています。

年代別では、年代が高くなるほど平均金額も高くなっています（50 代以上 2,514 円、30～40 代 2,098 円、10～20 代 2,061 円）。また家族構成別では、家族の中に「病気がちの方がいる家庭」（平均 3,097 円）で最も金額が高く、次いで「小中学生がいる家庭」（平均 2,536 円）で高くなっています。

なお、「100 万円以上」出してもよいと回答した人が 6 名おり、最高額は 1 千万円でした。

地域別の平均金額を見てみると、「南関東（東京を除く）」が 2,511 円、「東京」が 2,392 円と高めであり、「四国」（1,477 円）、「北関東」（1,533 円）、「北陸」（1,563 円）が安めの回答となっています。

＜地域別にみる「おいしい・快適な空気」を1カ月得るために出してもよい金額＞

単位：円

地域	平均金額	地域	平均金額
北海道	1,869	北陸	1,563
東北	2,339	近畿(大阪除く)	1,789
北関東	1,533	大阪	1,981
南関東(東京除く)	2,511	中国	1,751
東京	2,392	四国	1,477
甲信越	1,874	九州・沖縄	2,068
東海	2,203		

次に、「おいしい水」が1カ月間得られるとしたら、いくらぐらいかを聞いたところ、「1,000～2,000円未満」(28.4%)が最も多く、次いで「1～1,000円未満」(23.1%)で、以下「3,000～5,000円未満」(14.5%)「2,000～3,000円未満」(12.4%)「5,000～1万円未満」(11.3%)の順で続いています。平均は2,525円です。

女性(平均2,447円)より男性(平均2,600円)の金額が高くなっており、年代別には年代が高くなるほど平均金額も高くなっています(50代以上3,017円、30～40代2,502円、10～20代2,423円)。また家族構成別には、家族の中に「病気がちの方がいる家庭」(平均3,024円)で最も金額が高く、次いで「小中学生がいる家庭」(平均2,951円)で高くなっています。

地域別にみると、「南関東(東京を除く)」(平均2,718円)の金額が最も高く、最も低いのは「四国」(平均1,799円)です。

《地域別にみる「おいしい水」を1カ月得るために出してもよい金額》

単位:円

地域	平均金額	地域	平均金額
北海道	2,442	北陸	2,415
東北	2,681	近畿(大阪除く)	2,330
北関東	2,073	大阪	2,347
南関東(東京除く)	2,718	中国	2,628
東京	2,547	四国	1,799
甲信越	2,419	九州・沖縄	2,690
東海	2,647		

最後に「安全」が1カ月間得られるとしたら、いくらぐらい出してもよいかの質問には、「1,000～2,000円未満」(20.5%)と回答した人が最も多く、次いで「1～5万円未満」(19.8%)となっており、以下「5,000～1万円未満」(15.7%)「1～1,000円未満」(14.3%)「3,000～5,000円未満」(11.8%)の順で続きます。平均は5,686円でした。

属性別には、女性(平均5,225円)に比べて男性(平均6,133円)が高くなっており、年代別にみると、10～20代(平均6,077円)および50代以上(平均6,032円)に比べ、30～40代(平均5,399円)の金額が低くなっています。また家族構成別には、家族の中に「70才以上の方がいる家庭」(平均6,991円)で最も金額が高く、次いで「病気がちの方がいる家庭」(平均6,575円)で高くなっています。

地域別にみると、「九州・沖縄」(6,273円)「東京」(平均6,051円)の金額が高く、最も低いのは「北陸」(平均4,575円)です。

《地域別にみる「安全」を1カ月得るために出してもよい金額》

単位:円

地域	平均金額	地域	平均金額
北海道	5,786	北陸	4,575
東北	5,213	近畿(大阪除く)	5,079
北関東	4,993	大阪	5,793
南関東(東京除く)	5,895	中国	4,973
東京	6,051	四国	4,915
甲信越	5,485	九州・沖縄	6,273
東海	5,938		

3. 日本人の3大無料モノ「空気・水・安全」を意識する度合い。

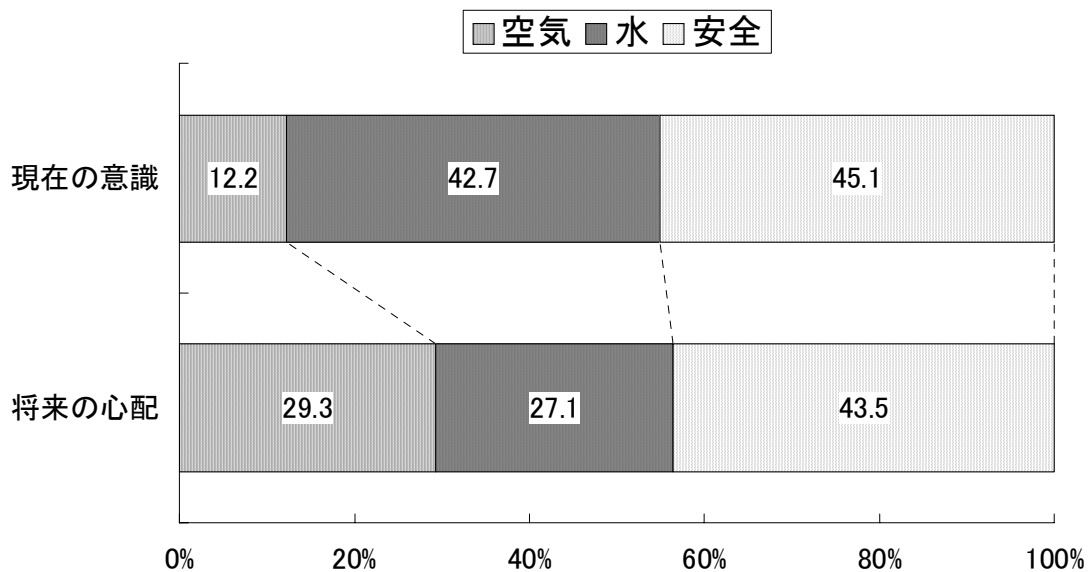
3. 「空気・水・安全」に対する意識を聞いたところ。

- 「空気・水・安全」のうち、現在、意識が最も低いのは「空気」。将来最も心配なのは「安全」（43.5%）。
- 「空気」で、将来最も心配なことは「大気汚染・空気の汚染」（1,924件）。
- 「水」で、将来最も心配なことは「水質の劣化・汚染・汚濁」（1,244件）。
- 「安全」で、最も心配なことは、「交通事故」（800件）。

「空気・水・安全」のうち、日常生活において意識する度合いが高いのはどれか聞いてみると、最も意識する度合い（重視度）が低いのは「空気」（12.2%）で、意識する度合いが高いのは「安全」（42.7%）「水」（45.1%）の順になりました。

次に「空気・水・安全」の中で将来最も心配（気がかり）なものはどれかを聞いてみました。「安全」（43.5%）と回答した人が最も多く、次いで「空気」（29.3%）「水」（27.1%）の順となりました。

《「空気・水・安全」の中で最も意識が高いのは、将来最も心配なのは》



では、「空気・水・安全」のそれぞれ最も気になることを具体的に聞いてみると、「空気」について最も多いのは「大気汚染・空気の汚染」(2,162件)で、以下「車などの排気ガス」(673件)、「二酸化炭素」(458件)、「春先などの花粉」(320件)、「都会の大気汚染」(183件)、「有害物質による汚染」(150件)などが続いています。

属性別の上位3項目をみると、以下のとおりです。20代では「花粉」が、40代では「有害物質による汚染」がそれぞれ、心配な点の3位となっています。

《「空気」について将来気になることベスト10》

順位	項目	件数	順位	項目	件数
1位	大気汚染・空気の汚染	2,162	6位	地球温暖化現象による影響	147
2位	車などの排気ガス	673	7位	オゾン層の破壊による影響	132
3位	二酸化炭素	458	8位	工場排気による大気汚染	127
4位	春先などの花粉	320	9位	環境汚染による空気の汚れ	120
5位	有害物質による汚染	150	10位	ダイオキシン問題	108

《属性別にみる「空気」について将来気になること》

	1位	2位	3位
男性	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
女性	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
10代	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
20代	大気の汚染	車の排気ガス	春先などの花粉
30代	大気の汚染	二酸化炭素	車の排気ガス
40代	大気の汚染	車の排気ガス	有害物質による汚染
50代	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
60代以上	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素

「水」について最も多いのは「水質劣化・汚染・汚濁」(1244件)で、群を抜いています。以下、「水不足・断水」(343件)、「水道水の不味さ」(317件)、「塩素の量・残留塩素」(269件)、「海・河川の汚染」(264件)、「水道水の安全性」(225件)などが続いています。

《「水」について将来気になることベスト10》

順位	項目	件数	順位	項目	件数
1位	水質劣化・汚染・汚濁	1,244	6位	水道水の安全性	225
2位	水不足・断水	343	7位	有害物質混入	123
3位	水道水のまずさ	317	8位	水道料金の値上げ	123
4位	塩素の量・残留塩素	269	9位	臭い(カルキ臭)	110
5位	海・河川の汚染	264	10位	生活排水による汚染	107

また、「安全」について最も多いのは「交通事故」(800件)で、以下「治安低下・警察力の低下」(670件)、「犯罪の増加」(290件)、「テロ」(249件)、「外国人犯罪の増加」(169件)、「犯罪の凶悪化」(160件)などが続いています。

《「安全」について将来気になることベスト10》

順位	項目	件数	順位	項目	件数
1位	交通事故	800	6位	犯罪の凶悪化	160
2位	治安低下・警察力の低下	670	7位	空き巣・ピッキング	154
3位	犯罪の増加	290	8位	大地震	141
4位	テロ	249	9位	食品の安全性	123
5位	外国人犯罪の増加	169	10位	環境汚染	86

4. 現在の日本人無料モノ。

4. 現在、日本人が無料だと思っているモノを聞いたところ。

- 1位「空気」(5,901件)、2位「水」(4,429件)が圧倒的に多く、「安全」(1,166件)は4位となる。
- 60代以上ではやはり「空気」「水」「安全」が3大無料モノ。「自然・景観」も高い結果に。
- 10・20代では「電気」が高く、10代では「情報」も無料と考える傾向にある。

日常生活の中であまりコストを意識しないものは何か、自由にあげてもらいました。最も多いのは「空気」(5901件)で、次いで「水」(4429件)「太陽エネルギー」(1,808件)、の順で、「安全」(1,166件)は4位となりました。

また、7位「情報」(516件)、8位「ポケットティッシュ」(387件)のほか、15位「ゴミの処理」(265件)などが上位にきたのは、日本人ならではの結果かもしれません。

年代別で見ると、60代以上では、やはり「空気」「水」「安全」がトップ3となったものの、「安全」は世代が若くなるほど無料モノではなくなっています。また、10代は3位に「電気」、5位に「情報」をあげており、電気を使うこと、情報を手にすることにコスト意識を感じない世代が生まれてきています。

《日本人が無料^{タダ}と思っているモノベスト20》

順位	項目	件数	順位	項目	件数
1位	空気	5,901	11位	紙類(コピー用紙・広告・チラシ類等)	311
2位	水	4,429	12位	放送	304
3位	太陽エネルギー(光・熱)	1,808	13位	時間	280
4位	安全	1,166	14位	風	271
5位	電気	1,132	15位	ゴミの処理	265
6位	自然(景色・景観)	627	16位	雨	222
7位	情報	516	17位	一般道路	211
8位	ポケットティッシュ	387	18位	ビニール袋(ゴミ袋など)	196
9位	ガス	367	19位	愛	130
10位	下水道	334	20位	自家製の食物	129

《属性別にみる日本人が無料^{タダ}と思っているモノ》

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	空気 (67.8%)	水 (54.2%)	太陽 (22.7%)	安全 (17.5%)	電気 (15.3%)
女性	空気 (67.9%)	水 (49.9%)	太陽 (24.4%)	電気 (14.1%)	安全 (13.8%)
10代	空気 (64.5%)	水 (50.5%)	電気 (22.3%)	太陽 (21.8%)	情報 (8.2%)
20代	空気 (67.1%)	水 (51.2%)	太陽 (22.0%)	電気 (18.2%)	安全 (12.5%)
30代	空気 (67.8%)	水 (50.4%)	太陽 (24.1%)	安全 (15.2%)	電気 (13.4%)
40代	空気 (69.4%)	水 (53.9%)	太陽 (23.9%)	安全 (19.7%)	電気 (12.6%)
50代	空気 (68.6%)	水 (55.6%)	太陽 (26.6%)	安全 (21.0%)	電気 (12.3%)
60代以上	空気 (65.3%)	水 (64.1%)	安全 (24.6%)	太陽 (23.4%)	自然・景観 (11.4%)

5. 「おいしい・快適な空気」とはどんな空気か。

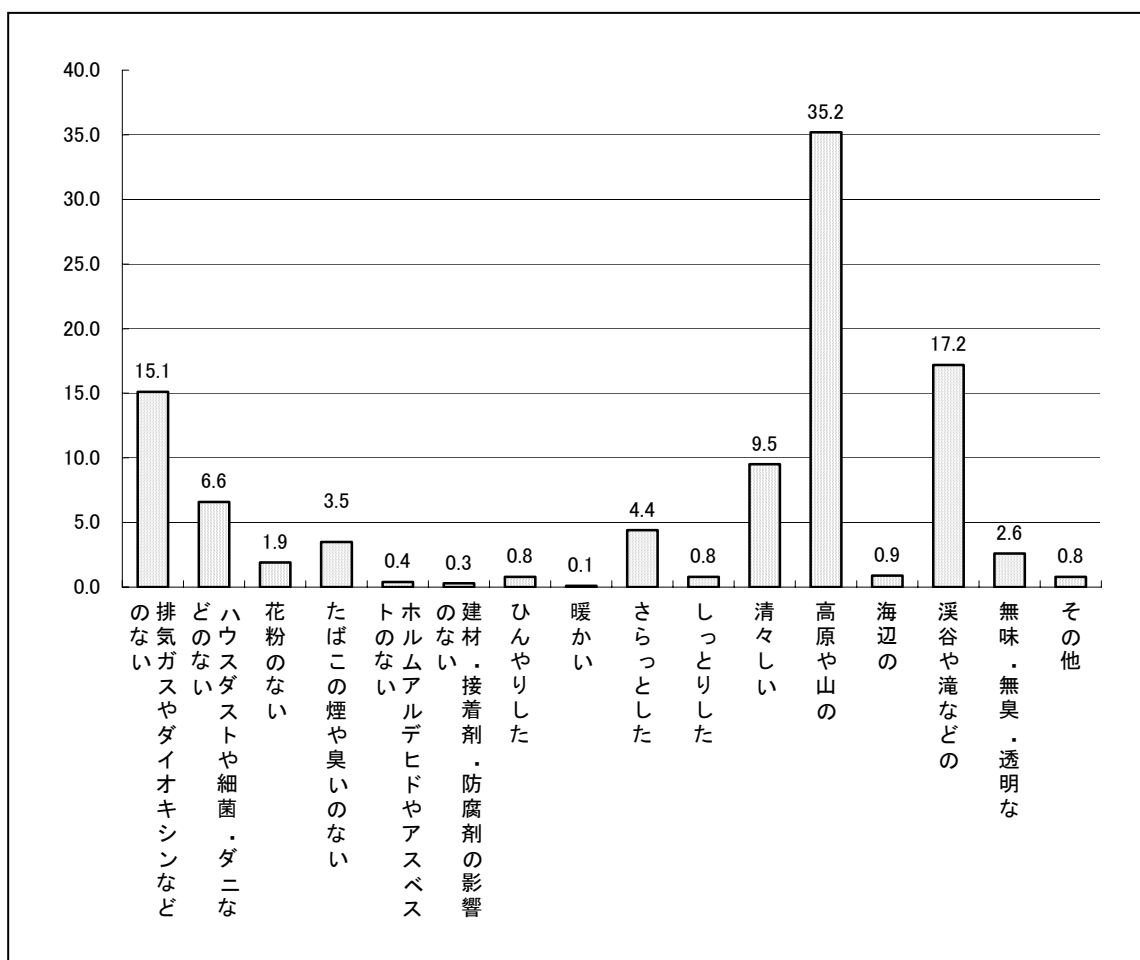
5. 「おいしい・快適な空気」はどんな空気をイメージするか聞いたところ。

- 「高原や山の空気」(35.2%)が最も多く、次いで「渓谷や滝などの空気」(17.2%)。「排気ガスやダイオキシンなどのない空気」(15.1%)も3位に。
- 「高原や山の空気」を最も強くイメージするのは、東京に住んでいる人(37.0%)。
- 「排気ガスやダイオキシンなどのない空気」を最も強くイメージするのは、東海地方に住んでいる人(17.0%)。

無料と思われ、最も関心の低い“空気”ですが、では、理想的な空気とされている、「おいしい空気」「快適な空気」についてはどうなのでしょう。まず、「おいしい・快適な空気」でイメージする空気とはどのような空気なのか聞いてみると、「高原や山の」(35.2%)と回答した人が最も多く、次いで「渓谷や滝などの」(17.2%)、「排気ガスやダイオキシンなどのない」(15.1%)の順となっています。他はいずれも1割以下の回答に留まっています。

地域別にみると、「高原や山の空気」を最も強くイメージするのは、東京に住んでいる人(37.0%)で、「渓谷や滝などの空気」を最も強くイメージするのは、九州・沖縄に住んでいる人(20.3%)。「排気ガスやダイオキシンなどのない空気」を最も強くイメージするのは、東海地方に住んでいる人(17.0%)となりました。

《「おいしい・快適な空気」とはどんな空気か》



6. 「おいしい・快適な空気」を得るための方法。

6. 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるか聞いたところ。

- 「ない」(54.1%)の方が多く、お金をかけなかった理由では「必要がない」(1,173件)が最も多い。また、「良い方法がない・思いつかない」(983件)も多い結果に。
- 「ある」(45.9%)は、南関東(東京を除く)(50.9%)と東京(50.4%)で多いのに対して、東北(36.1%)と北陸(36.8%)は少ない。
- 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことでは「空気清浄機の設置」(1834件)が圧倒的に多い。

「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるかを聞いてみると、「特にない」(54.1%)と回答した人の方が多く、「ある」(45.9%)人は半数以下に留まっています。

属性別には、年代別にみると、「ある」は年代が高いほど回答が多めで、家族構成別では、「家族はいない」(40.1%)人と「70才以上の方がいる」(40.4%)の回答が少なめです。

居住地別には、「ある」は、南関東(東京を除く)(50.9%)と東京(50.4%)で多いのに対して、東北(36.1%)と北陸(36.8%)は少なく3割台に留まります。

また、「ない」と回答した人に、どうしてか理由を聞いてみたところ、「必要がない(必要性を感じない)」(1173件)が最も多く、「よい方法がない・思いつかない」(983件)も多い結果となっています。

次に「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあると回答した人に、どのようなことをしたのか聞いてみました。最も多いのは「空気清浄機の設置」(1834件)で、圧倒的に多くなっています。そのほか、「山歩き・登山」(226件)、「旅行をする」(201件)などがあげられています。

なお、調査した7,341名のうち、「おいしい・快適な空気」を求めて「引越し」をした人が38名もいました。

《「おいしい・快適な空気」を得るためにしたこと》

空調関連機器系	件数	旅行関連系	件数	その他	件数
空気清浄機の設置	1,834	山歩き・登山	226	引越しをした	38
高機能 エアコン設置	77	旅行をする	201	部屋に観葉植物を	11
マイナスイオン発生器	68	里帰り・帰省	84	芳香剤を使う	7
除湿機を使用している	15	森林浴をする	53	別荘を買った	3
加湿清浄機	13	自然を見に行く	52	上記合計	59
上記合計	2,007	高原に行く	30		
		海外旅行に出かける	29		
		海や山へ出かける	27		
		緑の多いところへ行く	16		
		ハイキング	15		
		郊外へでかける	11		
		上記合計	744		

～本資料に関するお問合せ～

◆ **ダイキン工業株式会社 広報部**

【本 社】 広報部長 芝 道雄 / 課長 片山 義文

〒530-8323 大阪府大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル

TEL.06-6373-4348

FAX.06-6373-4330

【東京支社】 東京担当部長 井上 武郎 / 東京担当 山田 香織

〒163-0235 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

TEL.03-3344-8030

FAX.03-3344-8021

ダイキンホームページアドレス

<http://www.daikin.co.jp>

お問い合わせ総合窓口 e メールアドレス

koho.inf@daikin.co.jp

◆ **共同 PR 株式会社**

担当: 蓮間 崇道・北条 洋寿

〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル

TEL.03-3571-5171

FAX.03-3574-9364